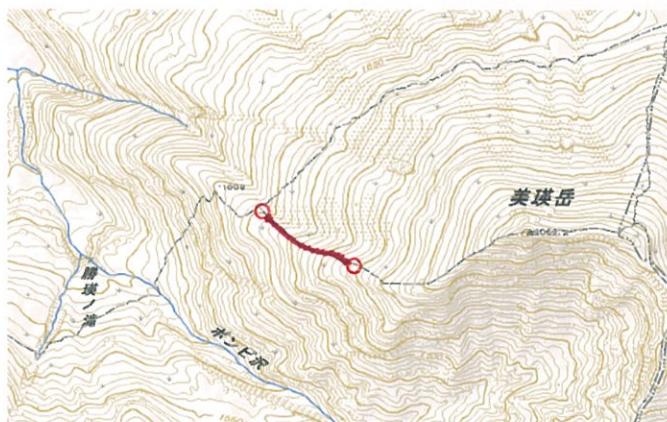


## 別紙 1

## 大雪山国立公園 歩道維持管理作業 実施計画書 平成 30 年 7 月 30 日 バージョン I 《 No.. 1 》

計画者	美瑛山岳会			
担当者	内藤 美佐雄	Tel & E-mail 0166-92-2790 piye_naitou@mail.plala.or.jp		
対象箇所	美瑛岳線登山道（雲ノ平分岐～美瑛富士分岐～美瑛岳の間）			
登山道管理水準	保全対策ランク	A・B・C・D	利用体験ランク(グレード)	1・2・③・4・5
作業の目的	<p>対象箇所は平成 27 年度美瑛地区登山道協働型維持業務(環境省 GW 事業)で、分散排水工、床止工、階段工を美瑛富士分岐～美瑛岳山頂方向 300m の間に 21 箇所施工。その後、平成 28 年 9 月の台風による豪雨で、分散排水工から谷側斜面の高山植物帯に土砂が流入。当該事業の技術指導をしていただいた岡崎哲三氏はモニタリングで土砂流入対策として、さらに上部の床止工及び土留工の追加施工を提言していることもあり、美瑛富士分岐に仮置きしてある角材(14 本)と現地採取の石材で前記の補修を実施したい。</p> <p>なお、高山植物帯に流入した土砂は、美瑛山岳会において平成 29 年に除去済みで、除去した土砂は土裏に入れて現地に保管、今回の補修資材として活用する。</p>			
利用する工法	分散排水工	床止工	土留工	マルチング工
	路面処理工	段差処理工	植生基盤工	その他( )
作業予定日	平成 30 年 9 月 15 日～25 日の間		参加予定人数	10 人程度
又は期間			参加者内訳	参加者の一般公募 <input checked="" type="checkbox"/> しない
安全対策	会員が加入する「日本山岳共済 山岳保険」で対応			
主な資材と その調達	<p>(資材) 角材(150m/m × 120cm) 残置分 14 本 + 搬入分 6 本 計 20 本 (森林管理署提供)            鉄ピン(9m/m × 60 cm) 残置分 20 本 + 搬入分 25 本 計 45 本 (自己資金購入)            石材 現地採取</p>			
道具の貸出希望	希望なし			

位置図



事務局記入欄

国立公園	保護規制計画	特別保護地区		
	利用施設計画	美瑛岳線道路(歩道)事業		
	事業執行者	未執行	担当部署	
土地所有	国有林・道有林・その他( )	担当部署	上川中吉森林管理署	
天然記念物	該当あり・該当なし	担当部署		
備考				

課題（問題点・  
作業の必要性）  
ねらい・目標

- ・歩道は斜面の中腹に位置し、歩道上部からの流水だけではなく、側方斜面からも流れ込むため、歩道の洗掘を防止するためには、高山植物帯でも影響が少ない箇所を選定して谷側の小沢に導流する必要がある。
- ・十勝岳連峰美瑛町管内の登山道は、環境省GW事業、上川中部森林管理署とのボランティア協定により、美瑛山岳会が既に多くの工作物を設置しており、これらのモニタリング・メンテナンスを今後とも恒常的かつ持続性をもって行うことが困難な状況にある。

施行方法 1



左奥が美瑛岳山頂 雨水は上方と側方斜面からも流入する



階段工と床止工で処理、角材のステップ上部には石材を詰める

施工方法 2



階段工と床止工で処理、角材のステップ上部には石材を詰める（写真角材は暫定処置）



階段工と床止工で処理、角材のステップ上部には石材を詰める

※これら画像と同様の洗掘箇所が数箇所存在する

施行方法 3



登山者が大岩を乗り越し、隙間を縫うような状況なので、さらに現地で工法を練る



施行方法 4



分岐に仮置きしたままの補修資材

土砂堆積状況と除去作業

